

みどりの風

山口県自然観察指導員協議会 会誌

No.105

2020年 1月(新春号)



私たちは地球生命体の永遠なるいのちを願って活動しています

今後の会議の予定

第2回役員会 日 時 令和2年3月1日(日) 10時～下松市中央公民館

第3回役員会 日 時 令和2年6月7日(日) 10時～下松市中央公民館

第4回役員会 日 時 令和2年9月6日(日) 10時～下松市中央公民館

自然観察指導員講習会予定

日 時 令和2年9月19日(土)～20日(日)

場 所 秋吉台少年自然の家

表紙の説明

角島大橋架橋工事の試すい調査資料(1992 年)

表紙の写真は附野(つくの)側から6本目の橋脚の下の地層を試すい調査した際の資料(サンプル)です。(橋脚下 20m の深さ)豊北町自然観察指導員会が当時の県に要請して資料の採集が可能となりました。

今秋、角島大橋は、開通 20 周年を迎えます。

表紙写真撮影地等

下関市 豊北町自然観察指導員会提供 2019 年 11 月 27 日

新年にあたり

会長 大田和彦

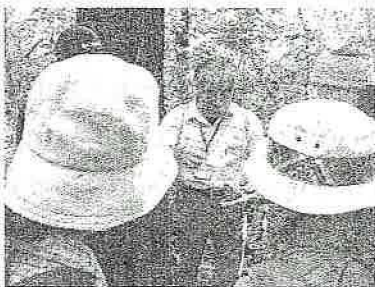
新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は地球温暖化の影響か大型台風による豪雨のため関東や東北では大変な被害が発生しました。また、ウナギやメダカだけでなく普通種のノウサギやオオムラサキなども減少しているようです。現状のままでは地球環境はどう変化するのか危惧されます。我々の活動により微力ながら環境悪化・生物種の減少を食い止めていきたいと思ひます。

現在の会員数は82名で、少子高齢化のため減少傾向は変わらず毎年10名近く退会されています。このままでは会の活動は衰退してしまいます。寂しい限りです。そこで、5年ごとに行っていた自然観察指導員講習会を今年開催し、会員数を10~20人増やしたいと思ひます。今秋、秋吉台で実施できたらと思ひています。実施時には御協力よろしくお願いしします。

会の活動が充実発展するためには会員の活動・協力が欠かせません。本部や支部の観察会や研修会には多くの会員が積極的に参加されますようお願いします。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と御活躍を祈念致します。



第25回中国五県自然観察指導員交流会 at 島根に参加して

ミズナラとブナが揃って三瓶山

第2支部 平田 吉勝

令和元年10月26日(土)、27日(日)に島根県大田市三瓶町で行われました。総勢60名が参加しました。山口県から大田会長、黒田さん、永井さん、脇田さん、植田さん、そして平田2名の7名の参加です。国立三瓶青少年交流の家に12時に集合し佐藤会長の挨拶で開会式が始まり、星野さんの司会でスタッフ紹介がありました。

研修①は、令和2年5月31日に島根で行われる全国植樹祭について学びました。講師は佐藤会長。国土緑化推進運動の行事で、昭和25年から始まった。



今回は第71回を島根県で開催します。式典会場がここ、【植樹祭会場の視察】

三瓶山北の原です。座学の後現地を確認しました。たくさんの木々を伐採して植樹の準備中でした。研修②で東京からNACS-Jの高川さんが「40周年を迎えた全国の指導員活動と次の10年間について」と題して講義と議論をしました。時間的にぎゅうぎゅうのスケジュールで、夕食、懇親会(メニューは、刺身、揚げ物、鍋)に突入しました。私は、肝心の二次会に参加できず残念でしたが、太田会長と黒田さんは、12時頃まで他県の方とお酒交流をしていたようです。



【さあ、三瓶山登山へ】

二日目、絶好の天気です。朝6時半起床、朝の集いで島根の方がギターを弾いて盛り下がりましたが、掃除、朝食(バイキング方式)を終え、メインの三瓶山登山組と北の原自然林トレッキング組に分かれて向かいました。私は妻と登山をしました。コースは一番キツイらしい姫逃池登山道で男三瓶山1126メートルに。久々の登山でしたので、不安でしたが、天候にも恵まれて、無事、山頂に到達しました。山頂手前で、素晴らしいす



【準備体操を確実に】

さんが、「是非、来年、芸北で新しい顔ぶれを増やして会いましょう。」で、終わりました。

最後に一句。

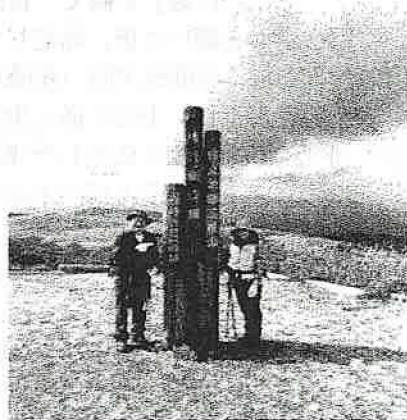
「ミズナラとブナが揃いて三瓶山」

本当に楽しかったです。

《余録2枚》



【木々を伐採しての会場づくり？】



【！頂上は眺望最高！】



【姫逃ヶ池散策】

きの高原に感激、室ノ内池の絶景、360度の展望の最高。ここでオムスビ弁当をおいしく頂きました。周りを見ると様々な人が昼食をしていました。お湯を沸かして家族4人でカップラーメン。ウインナーソーセージとメザシを焼く夫婦。一人でお湯からスパゲッティを茹でてミートソースを食べる人。大変参考になりました。

自然観察指導員全員で集合写真を撮りました。（島根の方が。）そして下山。私はまさかの膝を痛めてしまい、ようやくの下山でした。

ありがとうございました。最後に交流の家の前で解散式をして、来年の広島自然観察会の和田さ

第6回日本野生動物医学会大会公開講座に参加して 令和元年9月1日(日)

「中国地方にはカモシカもリスもないのか!」 於: 山口大学

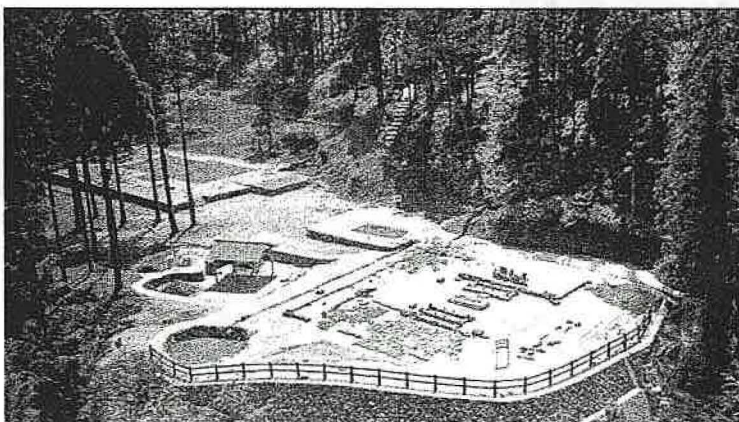
増野和幸

標記の公開講座で、当協議会の田中 浩先生(山口県立博物館)が講演されると聞き、参加しました。その発表を聴き、その事実に驚き衝撃的を受けたのでした。それは、中国地方におけるたたら製鉄が、この地方の小型哺乳類の生息に大きく影響したということです。私の生まれ育った萩市(旧福栄村紫福地域)には、2015年ユネスコの世界遺産・明治日本の産業革命遺産に登録されたサイトの一つ「大板山たたら製鉄遺跡」があります。私は古里と関わりをもちたいとの思いから、数年前から遺跡のボランティアガイドをやっています。たたら製鉄とは島根県の出雲・石見地方を中心とする、砂鉄から木炭を燃料にして鉄を取り出す近世に盛んに行われた製鉄技法です。花崗岩の風化土・真砂土に含まれる良質の砂鉄が原料で、燃料の木炭には膨大な量の木材が必要です。江戸時代、全国の鉄生産量のほぼ9割近くを、この山陰地方で生産したといわれています。たたら製鉄が山を切り崩し、鉄穴流しという方法で砂鉄を採取。一方、木炭を得るために広大な森林を伐採し、数年で周囲の山がはげ山になるほどだったといえます。ガイドをしながら、鉄生産のプラスの面を強調して解説をしている私には、今回の報告は衝撃的でした。アニメ「もののけ姫」を観て、自然と人との激しい対立があったことは知っていました。

今回、講演を聴いた後、帰宅してからWebでいくつかの記事を目にしました。2019年9月13日の毎日新聞地方版(茨城)に「たたら製鉄で小型哺乳類減少 つくば研究チーム発表 古代と近世、山切り崩し生息域奪う」という見出しが目に入りました。これをたよりに研究内容を詳細に広報したWebにたどり着き、研究の詳細を知ることができました。研究は国立環境研究所と帯広畜産大学の共同研究。タイトル「製鉄が野生動物に与えた影響は千年紀を越えて残る—生物と遺跡の地理的分布から見えたこと—」。この研究では、古墳時代から近世に至るまでの遺跡と、現在の哺乳類分布をいくつかのパラメーターを用い、統計的分析を行っていました。結論の中では近世のたたら製鉄が小型哺乳類の分布に負の影響を与えていること、森林破壊をもたらした中国地方のたたら製鉄が哺乳動物の属数の減少と強い関係があることを指摘していました。詳細は関連のWeb等をご覧くださいと思います。

たたら製鉄が近世の社会・経済・文化に与えた大きな影響、またそれが明治維新以降の近代製鉄や産業に与えた影響は絶大です。今後、たたら製鉄遺跡のガイドをする上で、今回の講演によって知り得た野生動物への与えた影響も念頭におき、より良いガイドを行っ

ていきたいと思っています。有意義な公開講座に参加する機会が得られたことに感謝いたします。



大板山たたら
製鉄所遺跡
(萩市)

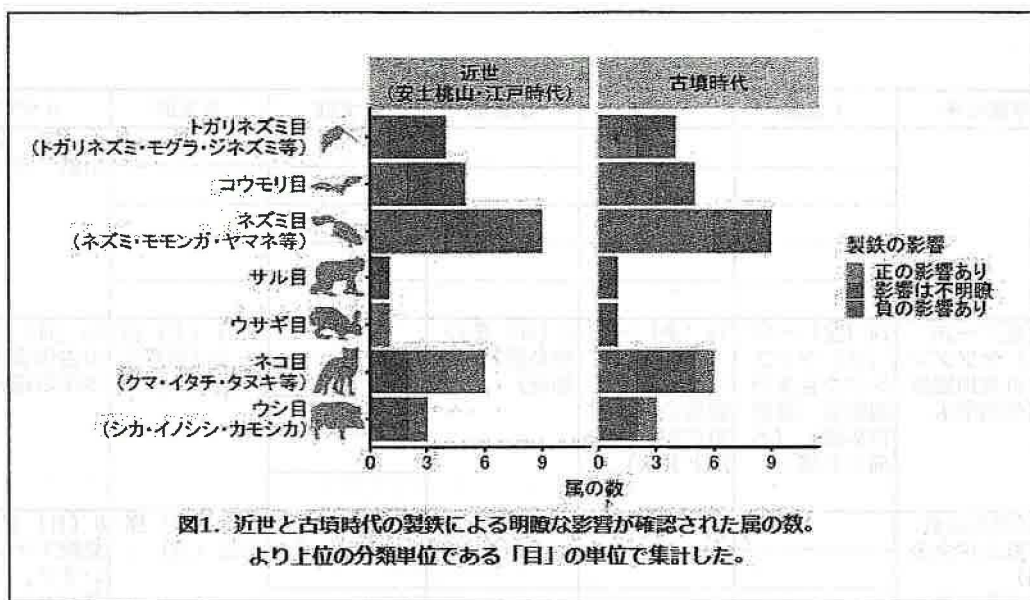


図1、図2はいずれも下記のWeb サイトから引用させていただきました。

<http://www.nies.go.jp/whatsnew/20190802/20190802.html>

<http://www.nies.go.jp/kanko/news/33/33-4/33-4-03.html>

令和2年度活動計画

月	本部行事	1支部	2支部	3支部	4支部	5支部	6支部
1							12(日)防府市厳寺山
2	14(金)～16(日)セツブンソウ自生地観察会(岩国市広瀬)	14(金)～16(日)セツブンソウ自生地観察会(岩国市広瀬)(本部と共催)	14(金)～16(日)セツブンソウ自生地観察会(岩国市広瀬)(本部と共催)	9(日)冬の野鳥観察(阿知須)		1日(土)打ち上げ貝観察会(つ)	23(日)下関市吉母富士と本州西端の地
3	・第2回役員会(下松市中央公民館) ・みどりの風106号発送					7日(土)探鳥会(つ)	8(日)奥匹見峡アテツマンサク、サクラバハノキ
4	・カタクリ自生地保全活動(寂地山) ・ヒゼンマユミ自生地保全活動(蓋井島) ・29(水)カタクリ定点観察会(寂地)		・カタクリ自生地保全活動(寂地山) ・29(水)カタクリ定点観察会(寂地)(本部と共催)	12(日)エヒメアヤマ観察会(防府)	26(日)竜王山観察会	・ヒゼンマユミ自生地保全活動(蓋井島)(本部と共催)	26(日)蒜山高原のサクラソウ、新見市無明谷
5	・小五郎山登山道整備(岩国市) ・ヒゼンマユミ自生地保全活動(蓋井島)		・小五郎山登山道整備(岩国市)(本部と共催)			・ヒゼンマユミ自生地保全活動(蓋井島)(本部と共催) ・野草観察会：中旬(つ)	9(土)10(日)江舟岳のホンシヤクナゲ観察会 23(土)24(日)愛媛県皿が峰、筒上山
6	・第3回役員会(下松市中央公民館) ・21(日)カタツムリ観察会(秋吉台) ・みどりの風107号発送			21(日)カタツムリ観察会(秋吉台)(本部と共催)			7(日)長門峡 滝橋～阿武大橋

月	本部行事	1支部	2支部	3支部	4支部	5支部	6支部
7	・切戸川観察会 (下松市) ・セミの脱け殻 調査(岩国市吉 香公園)	・セミの脱け 殻調査(岩国 市吉香公園) (本部と共 催)	・切戸川観察 会(下松市) (本部と共 催)				12(日)萩市 須佐黒崎ヒメ ユリ、キキョ ウ
8	・緑の少年隊交 歓大会(徳地青 少年自然の家)					親子昆虫教 室:中旬 (つ)	30(日)広島 県臥竜山尾崎 湿原
9	・第4回役員会 (下松市中央公 民館) ・セツブンソウ 自生地保全活動 (岩国市広瀬) ・みどりの風1 08号発送	・セツブンソ ウ自生地保全 活動(岩国市 広瀬)(本部 と共催)	・セツブンソ ウ自生地保全 活動(岩国市 広瀬)(本部 と共催)	サファリラン ドで動植物の 保全を考える (美祢市)			20(日)21 (月)氷ノ 山、玄武洞
10	・カタクリ自生 地保全活動(寂 地山) ・小五郎山登山 道整備(岩国 市) ・ヒゼンマユミ 自生地保全活動 (蓋井島)		・カタクリ自 生地保全活動 (寂地山) ・小五郎山登 山道整備(岩 国市)(本部 と共催)	〃		星空ウォッチ ング(つ)	18(日)大分 県姫島5つの 火口とアサギ マダラ
11	・令和2年度会 計監査 ・令和3年度第 1回役員会 ・令和3年度定 時総会					・ヒゼンマユ ミ自生地保全 活動(蓋井 島)(本部と 共催)	
12							
							8月21日~24 日北岳~間ノ 岳縦走

第3支部 活動報告 森林体験研修 令和元年10月5日(日)

於：京都大学フィールド科学教育研究センター徳山試験地

増野和幸

周南市街地から北部に入った山陽自動車道下付近にある、京都大学徳山試験地において開催された、周南市連携公開講座に参加しました。内容は「森林体験研修」ということでしたが、参加の目的は「解説指導員が森林と人との関わりを体験を通じて研修する」ということでした。講座の内容は、午前中、「檜皮ぶき屋根」の実演・体験でした。全国社寺等屋根工事技術保存会の方から、桧（ひのき）の樹皮を使っての体験指導を受けました。参加者一人ひとりが桧皮の整形と、竹釘を使って平皮を重ね留める作業を体験しました。試験地の豊かな森は、文化庁から桧皮を採取する「桧皮林」として「ふるさと文化財の森」として指定を受けています。1300年以上の歴史をもつ桧皮ぶき屋根、その伝統技術の継承に関わる人たちが頑張っておられる姿にも感動しました。

昼食をはさんで午後からは、移動して元京都大学附属施設で、現在は周南市の「市民の森」になっている西緑地公園内の「万葉の森」の樹木の観察を行いました。解説は施設を管理しておられる公園愛護会の代表の方でした。さすがに大学附属であっただけに、世界各地の樹木が多く植栽されて見事な大木になっていました。

今日の体験研修を通して学び感じたことは多く、有意義な一日を過ごすことができました。中でも森林をつくる樹木が、歴史の中で人と強く結びついていること、森林を介して、日本文化や伝統に関係する仕事があること、各樹種と人の間には何らかの関係があること等、多くのことを知る機会になりました。また、子どもたちが親子で参加し、熱心に体験したり、質問をしたりする姿にはとても頼もしさを感じました。

多くの樹木の説明で、人と関わる話題を聞きました。観察した樹木のいくつかをあげておきます。講座の募集定員は25名で、そのうち観察指導員の参加者は6名でした。

・コウヨウザン ・ナンキンハゼ ・メタセコイア ・サイカチ ・ムクロジ
・ヤマモモ ・ノムラモミジ ・トウネズミモチ ・シマトリネコ ・ユリノキ
・テーダマツ ・イロハモミジ ・クスノハカエデ ・クスノキ ・アブラギリ



(上左：
檜皮ぶき屋根
の体験)

(上右：
試験地林の見学)



(下左：
西緑地公園での全
体説明)

(下右：
公園内の樹木の観
察)

令和元年度環境活動団体等交流会実施要領

1 趣 旨

環境活動に取り組んでいる団体等が、活動状況や課題等について情報を共有し、課題解決に向けた方途について意見交換を行うことで、活動を一層促進することを目的とする。

《構成》

環境活動団体(158)、環境学習施設(18)、環境学習指導者(135)、県・市町環境学習担当課・センター(30)、環境学習推進センター

2 主 催

公益財団法人 山口県ひとづくり財団 (県民学習部環境学習推進センター)

3 日 時

令和2年1月19日(日) 13:30～16:00

4 場 所

山口県セミナーパーク 研修室205

5 参加者

環境活動団体の会員、環境学習関連施設の職員、環境学習指導者
県・市町の環境学習担当者、センター職員

6 日程・内容

13:15～13:30	受付
13:30	開会
13:35～14:05	事例発表①【環境活動団体】 山口県自然観察指導員協議会 会長 大田 和彦氏 「「みどりの風」を絶やさぬように」
14:05～14:35	事例発表②【環境活動指導者】 環境パートナー 神保達也氏 「自然に親しむ環境学習」
14:35～14:45	休憩
14:45～15:15	事例発表③【環境学習施設】 国立山口徳地青少年自然の家 次長 中村 慶治氏 「青少年教育施設における環境教育」
15:15～15:45	事例発表④【行政】 宇部SDGs推進センター センター長 小桧山大介氏 「SDGsとは何か? ～宇部市の取り組みから～」
15:45～16:00	連絡等
16:00	閉会

7 申込期限

令和2年1月10日(月)

環境やまぐち推進会議委員 様

山口県環境生活部長

冬の「ぶちエコやまぐち～CO₂削減県民運動～」の実施について

本県の環境行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県では、省エネ・節電など、地球温暖化防止への取組を更に促進するため、「ぶちエコやまぐち」を合言葉に、CO₂削減県民運動の取組を進めています。

冬場は特にエネルギー使用量が増大することから、貴会員へ下記取組内容の実施の呼び掛けに御協力くださるようお願いいたします。

なお、令和元年10月28日付け20191009資庁第1号で資源エネルギー庁長官から、冬季の省エネルギーの取組について通知がありましたので、本県の取組と併せて省エネルギー対策を一層推進されますようお願いいたします。

記

1 実施期間

令和元年12月1日～令和2年2月29日

2 取組内容

- ・ウォームビズ (着るものを工夫して暖房の温度を控えめ設定 等)
- ・ウォームシェア (ウォームシェアスポットの活用等による暖の共有 等)
- ・エコドライブ (やさしいアクセル操作 等)
- ・ノーマイカー運動 (12月はノーマイカー強化月間)
- ・ライトダウン (不要な電気の消灯、重点日：12/20(冬至の前営業日))
- ・エコ活動 (やまぐち食べきっちゃる運動 等)

3 ホームページ

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15500/buchieco/buchiecoyamaguch.html>

環境政策課 環境企画班

担 当：郡 島

TEL：083-933-3030

FAX：083-933-3049

E-mail：a15500@pref.yamaguchi.lg.jp

令和元年度
第2回

希少野生動植物種 保護支援員研修会



一足早く春の訪れを知らせるかのように、まだ寒い季節にひっそりと花を咲かせる節分草
けなげて貴重なその姿を、一緒に観察しませんか。
ちょうど花盛りの時期の開催です。

講演「セツブンソウの保護活動」

講師：古市節分草保存会 林 節司 氏

山口県
セミナーパーク

錦ふるさとセンター

受付
9:15～
9:30



講義

昼食
12:10

観察

セツブンソウ観察会

指導：古市節分草保存会



セミナー
パーク着
16:00

会場

錦ふるさとセンター 岩国市錦町広瀬1125
セツブンソウ自生地 岩国市錦町広瀬

募集人員

希少野生動植物種保護支援員 30人程度

日時

令和2年
2月9日(日) 11:00～15:00

参加申込

○山口県セミナーパークに集合して、バスで
研修会場に移動します。

○錦川清流線を使用して参加される方は、
錦町駅までバスで送迎します。

○古市節分草保存会の協力により開催する
研修会です。錦町の研修会場に、直接自家
用車で参加することはできません。

令和2年1月22日(水)までに、裏面の受講申込書に、支援員番号、氏名、住所、電話番号等を記入し、郵送または
FAXで環境学習推進センターに送付してください。

環境学習推進センターホームページ「環境学習ひろば」の「新着情報」または「講座・イベント」から当研修会名を
選択し、申込フォームから直接申し込むこともできます。

【主催】 山口県
(公財)山口県ひとづくり財団 環境学習推進センター



環境学習推進センターHP

④ 申込フォームから
お申込みできます

2020・1・25[土] → 1・26[日]

自然体験活動の トランスフォーメティブ チェンジ

あなたがつくるこれからの
「新しい自然観察会」

第9回
自然観察指導員全国大会
2020 大阪

令和をむかえ、ますます自然体験が
重要になってきました。

本イベントでは、時代の変化を共有し、
今までになかった発想でこれからの
「自然と人との関係」を考えます。

となたでも参加大歓迎！

あなたの手で、社会と一緒に革新的変化
— Transformative Change —
させていきませんか。

1月25日[土] 10:30 - 16:30

会場 大阪市立自然史博物館 定員 200名

> 第1部 講演

2030年の社会変化に自然保護教育はどう向き合うのか？

— 基調講演 — (日本自然保護協会)

「たね一人ひとりのこささい」を目指した自然観察会

— 特別出演 — (自然観察会「つくしんぐ」)

「カレーライスと本当に手作りするプロジェクト」による
自然の恵み美感謝の場づくり

— 水元 明 — (大阪自然環境学協会)

様々な機会に自然観察を活かすことの大切さとその心得
— 水元 明 — (大阪自然環境学協会)

日本自然保護協会の次の10年の自然観察指導員育成について

— 秋山 幸也 — (船橋市立自然博物館)

> 第2部 分科会

「多様なアイデアで社会に自然体験をふりかざそう」

1月26日[日] 9:00 - 15:00

会場 長瀬コースホテル

> 第3部 ワークショップ

「新しい自然観察会活動のアクションプランを作ろう」

> 自然観察指導員全国パーティー

表彰大会/お楽しみ抽選会/指導員大賞抽

選大会/自然観察指導員の功労者として表彰式/抽選会/お楽しみ抽選会/指導員大賞抽選

詳細・参加申し込み

お問い合わせ



日本自然保護協会
自然観察指導員全国大会事務局

Tel. 03-3554-2105
E-mail: kankatsui1978@nnpa.or.jp

<http://bit.ly/2r9Rlpc>

令和元年（2019年）12月10日

第5支部活動報告と計画

第5支部長 植田高弘

5支部の会員は、昨年度（平成31年度）退会が1名、今年度（令和2年度）入会が1名ということで、基本的には、大きな変動は見られなかった。ただ、残念だったのは有志で研修をするといった日（場）を設けることが出来なかったことである。

本部と共催の蓋井島竹伐り作業も12年目に入った。最初の頃は華々しく活動を行ってきたが、最近は5人以下のことが多くなったが、細く長く続けた結果、樹々（ヒゼンマユミ）の周りの竹も随分と減ってきた。

課題として、●高齢化による参加者の減少、●地元住民の方々とどんな協働作業ができるのか、●植生調査をどのように進めて（まとめて）いくか、の3点があげられる。

さらに、つのしま自然館の今後の運営方法の見直し等についても、何らかの方向性が明らかになるのではないと思われる。

令和2年度についても、平成31年度と基本的なスタンスは変わらない。しかし、細かい所では、変更や工夫も取り入れなければならない。活動計画については、一覧表で確認をお願いしたい。



11月の竹伐りメンバー（7名）



エミューの卵（乗船客の方が所有）



親子昆虫観察会



野草観察会で歌碑巡り（角島小学校内）

令和2年度第1回役員会議事録

令和2年度 第1回役員会議事録

開催日時・場所

日時 令和元年11月10日(日)10:00～12:00

場所 下松市中央公民館(ほしらんどくだまつ)交流室3

・出席 8名(黒田、植田、永井、平田、増野、松原、脇田、大田)

議事

1 令和2年度定時総会

令和元年11月24日(日)10:00～14:30

秋吉台エコミュージアム及び美東町長登銅山跡一帯

総会議案書検討一部訂正

2 中国五県交流会報告

令和元年10月26日(土)～27(日)島根県大田市三瓶山

58名参加、山口県から7名参加(黒田、永井、植田、平田夫婦、脇田、大田)

3 令和2年度自然観察指導員講習会

10月か9月か6月に秋吉台で実施予定

4 「みどりの風」編集会議

原稿締切 12月10日(火)

・その他

会員名簿の確認訂正

オオサンショウウオの保護観察施設を造ったらどうかの意見が出た。

機関誌編集委員を増やす。

《 編集後記 》

新年号をお届けします。新年のあいさつで、大田会長が述べているように会員の減少、高齢化が予想以上に進んでいます。また、昨年は地球規模での災害や環境問題が多く発生しました。

では、私たちが、何ができるかと考えた時、山口という地域で地道に環境活動に取り組むことが重要ではないかと考えるようになりました。

今後、会員の方が環境活動をしてその成果を会誌にどんどん投稿していただきたいと思います。

どうか遠慮なさらずご投稿くださいますよう、お願い申し上げます。(U)

山口県自然観察指導員協議会会誌
＜みどりの風＞

■発行 山口県自然観察指導員協議会

会長 大田 和彦

〒744-0043 下松市東陽 2-2-5

Tel(Fax)0833-46-0103

■機関誌編集長 植田 高弘

〒759-6603 下関市安岡町 8-14-21

Tel(Fax)083-258-2706